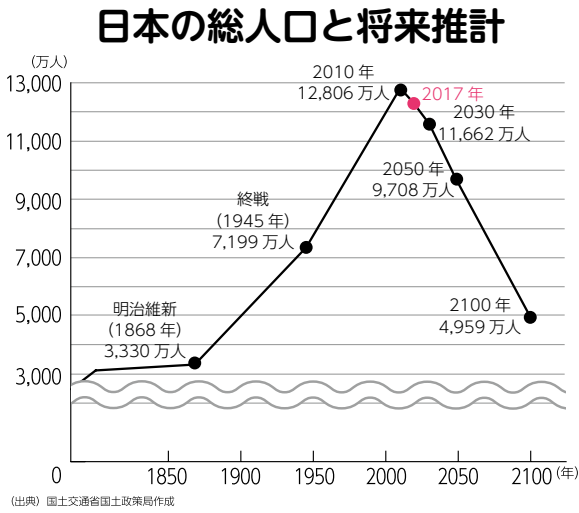


進化 ← 長崎!!



これまでは、人口が増えるのに合わせて、制度・ルールや公共施設などがつくられてきました。これからは、人口が減っていくことなどに合わせてルールを変えたり、公共施設のあり方や使い方を見直したり、地域の助け合いの仕方を変えたりすることが大切です。

将来にわたって、みんなで支え合うためのしくみをつくりましょう

このごろ、耳にすることが多くなった「人口減少」や「少子化・高齢化」や「暮らしに関する関係があるの？」

【問い合わせ】

都市経営室 ☎ 829・1111
行政体制整備室 ☎ 829・1124

人口が減っても、少子化・高齢化が進んでも暮らしやすいまちに

地域には自治会活動など多くの取り組みが、市役所には制度・ルールなど、いろいろな「まちを支えるしくみ」があります。

でも、これまで以上に人口が減っていく中で、多くの団体の活動が難しくなったり、現在の制度やルールが時代に合わなくなることが心配されます。そこで、これらの「まちを支えるしくみ」を見直すことが必要だと考えます。

これからは、みんなが「暮らしやすい」と思うまちにするために、地域でがんばるあなたも、市役所も、一緒に知恵を出しあって、アイデアを考へていきたいと思います。

取り組むのは今です

わたしたちは、これまで経験したことのないような人口減少の時代を迎えています。

これからも、暮らしやすいまちであ

市では、**人口減少に歯止めをかける**ために、長崎が魅力的で、多くの交流を生み出すまちになるための取り組みや、経済を強くしたり、安心して子どもを生み育てて、子どもが健やかに育つまちづくりも進めています。

取り組みなどは、市ホームページでご覧になれます。

市では、「長崎市まちごと創生総合戦略」を策定しました。(平成28年3月)



みんなで支え合うための「しくみ」

住民



支える

地域の力を集める

住民の暮らしやすさを支えるために、地域のいろいろな団体（自治会、PTAなど）のつながりをさらに強くしましょう。

地域



支える

市役所が地域を応援する

市役所は、まちづくりを行う地域を支えます。あわせて、地域ごとのニーズに応えられる組織に見直します。

市役所



市役所の支所・行政センターを含めた組織のあり方を見直します

市内でも、地域によって人口や高齢化率が違い、課題もさまざまです。

そこで、どの地域に住んでいても、身近な手続き、困りごとやまちづくりの相談が近くでできるようにするため、**支所・行政センターは全て「地域センター」に変わります。**

そのほか、専門職員の拠点となる「総合事務所」をつくり、地域の課題を予算や決定権を持ってスピーディーに、きめ細かく解決していくしくみもつくります。

<地域センターなどの配置図> (予定)

今年の7月を目指しています

1 身近な窓口

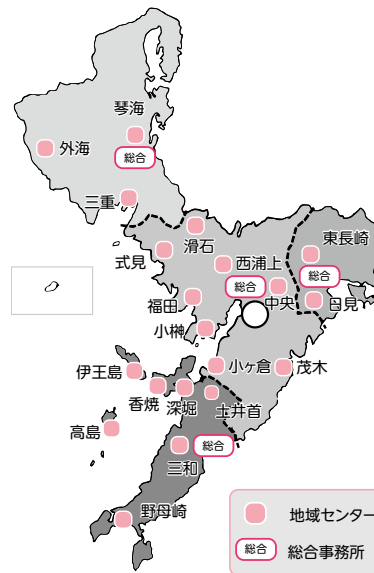
本庁に行かなくても、近くで手続きや相談ができます。

2 スピーディーな対応

専門職員の拠点をにつくって、地域の窓口や地域の現場をバランスよくカバーします。

3 地域にきめ細かく

地域の実情や課題に合った対応をします。



住民のみならず
手続き・相談は地域センターへ！
ワンストップで対応します



土木・保健・生活保護・まちづくり活動の支援などのしごとを市内4つのエリアごとに受け持ちます

市では、新しい「地域のしくみづくり」と「公共施設の配置」についても検討しています。新年度以降、市役所から地域をまわって、地域活動の支援や公共施設のあり方について相談させていただきます。

昨年11～12月に、市内10カ所で実施した説明会の資料や質疑応答などは、市ホームページでご覧になれます。

長崎市 地域を支えるしくみ

検索

それぞれの詳しい取り組み内容や時期は、あらためて紹介します。